

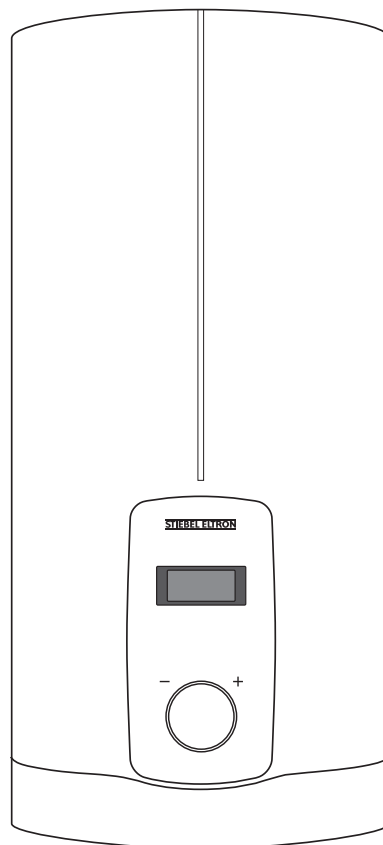
STIEBEL ELTRON

瞬間式電気温水器

取扱説明書

(取付説明書、保証書付)

型名 …… ●DHB-E LCDシリーズ
DHB-E18/21/24LCD
DHB-E27LCD



お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

- ご使用前にP. 1 「1. 安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必ず保証書とともにいつでも見ることができるところに保管してください。

日本スティーベル株式会社

[目次]

●取扱説明書

1. 安全上のご注意	1
2. DHB-Eシリーズについて	3
3. 各部のなまえ	3
4. 使い方	4
4-1. 使用前の準備	4
4-2. 長期間使用しないときは?	4
5. 日常の点検とお手入れ	5
6. 故障かな?と思ったら	5
7. 点検及び修理について	6
8. 仕様	7



●取付説明書

1. 安全上のご注意	9
2. 外形寸法と付属部品	11
2-1. 外形寸法と配線図	11
2-2. 付属部品	12
3. 事前工事	13
4. 機器の設置工事	14
4-1. 付属部品の設置	14
4-1-1. 壁固定金具の壁面への設置	14
4-1-2. 屋内の給水・給湯配管の接続	14
4-1-3. ストレーナの設置	15
4-2. 機器の設置	16
4-2-1. 機器の設置準備	16
4-2-2. 電源引込口に合わせた端子台の移動	16
4-2-3. 機器の固定	18
4-3. 初期設定	22
保証書	25




1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
---	--

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク してはいけないことを示します。
 注意マーク 注意することを示します。
 指示マーク 必ず行なうことを示します。



警告



禁止



絶対に改造しないでください。



前面パネルを外さないでください。



機器に取り付けられている配管は、絶対に取り外さないでください。



機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により濡れてしまった場合は、使用しないでください。



濡れた手で機器を操作しないでください。



機器の近くでの油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。



水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。



機器を正常に動作させるために、離隔距離の範囲内に物を置かないでください。(離隔距離は、壁紙や棚等の品質を保証する距離ではありません。)

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	≥90mm	≥90mm	≥50mm	≥50mm	≥500mm



注意









使い始めや、出湯時に瞬間的に熱湯が出る場合があります。



指示








機器に異常が発生した場合は、機器のブレーカを「切」(OFF) にしてから日本スティーベル(株)にお問い合わせください。








-  アース工事、漏電遮断機設置工事が適正に行なわれていることを確かめてください。
-  漏電遮断機が働いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル（株）にお問い合わせください。
-  機器がしっかりと壁面に固定されていることを確かめてください。
-  機器は、必ず定期的に点検（P. 5「5. 日常の点検とお手入れ」参照）をしてください。
-  震災等で万が一落下した場合は、下記の各項目を実施の上、日本スティーベル（株）にお問い合わせください。
 - ①機器のブレーカを「切」（OFF）にしてください。
 - ②建物が揺れている間や、機器が傾いている間は機器に近づかないでください。
 - ③機器の上に落下物がある場合は、取り除いてください。
 - ④水道の元栓を止めてください。
-  子供や身体に障害がある人が操作する場合は、監督者の管理のもと、または安全管理者による適切な指導を受けた上でご使用ください。

注意

禁止

-  機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
-  機器と壁の間に物を挟まないでください。
-  給水の元栓を止めた状態では機器のブレーカを「入」（ON）にしないでください。
-  給湯中、またはその直後は、配管部分が高温になっておりますので直接触れないでください。
-  飲用しないでください。

指示

-  長期間使用しない場合や、凍結の恐れがある場合は、事前に水抜きをしてください。
-  給水の元栓を開いた直後は、機器のブレーカを「入」（ON）にする前に、60秒以上、気泡が消えるまで蛇口を開いて水を流してください。
-  断水直後等で給水が濁っている間は、使用を控えてください。
-  給水温度は、55℃未満としてください。
-  定期的に給水接続口の清掃を依頼してください。
-  機器の所有者が変わる場合には、必ず本取扱説明書を新しい所有者に引き継ぎ、保管できるようにしてください。
-  本取扱説明書に付属している保証書に所定の事項が記入され、捺印があることを確認してください。



機器の修理をご依頼の際は、必ず本取扱説明書に付属している保証書を修理業者にご提示ください。



機器の移設を行なう場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

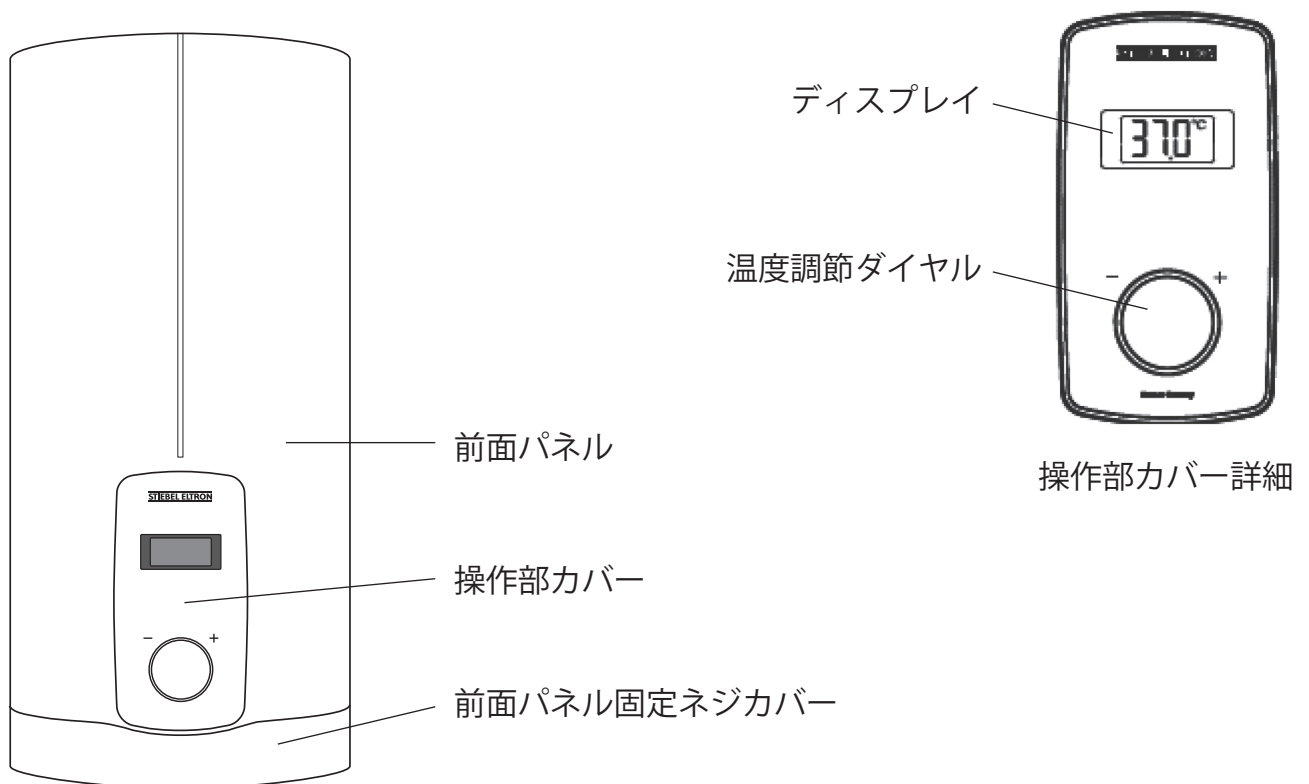
2. DHB-Eシリーズについて

DHB-Eシリーズ(以下では、「機器」と記述します。)は、三相400Vの壁掛け型瞬間式電気温水器です。温度調節ダイヤル操作により設定した給湯温度でお湯を使用できます。(ただし、ヒーター容量を超える給湯負荷の場合は除きます。)給湯温度は任意に調節(20℃~60℃)することができます。

ベアワイヤーシステムはスケール等の影響が少ないので硬水にも軟水にも適しています。

機器の損傷を防ぐ安全装置により機器が保護されています。

3. 各部のなまえ

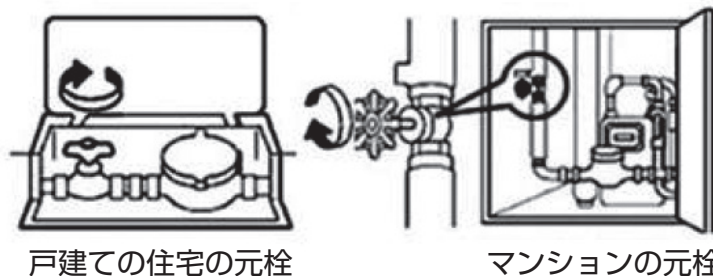


4. 使い方

4-1. 使用前の準備

①給水の元栓を「開」にします。

元栓例（現場により異なる場合があります。）



②機器のブレーカが「切」(OFF)の状態、機器が接続してあるお湯側の蛇口を、60秒以上、気泡が消えるまで開いて水を流します。

おねがい

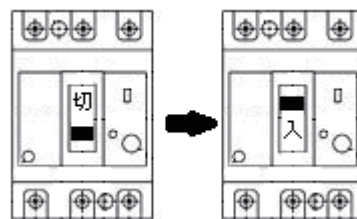
○給水の元栓を閉めた場合は、必ず実施してください。



③機器のブレーカを「入」(ON)にします。

MEMO

○機器のブレーカの設置場所等は、施工業者にご確認ください。



④機器の給湯温度を温度調節ダイヤルでOFF、20℃～60℃の範囲で設定します。

MEMO

○給湯温度を43℃以上に設定すると火傷の恐れがあります。使用用途に適した温度に設定してください。



⑤①～④の作業後、水栓のお湯側の蛇口を開くことで、設定した温度のお湯を使用することができます。

4-2. 長期間使用しないときは？

①機器のブレーカを「切」(OFF)にします。

②給水の元栓を閉じます。

③水栓の蛇口のお湯側を開き、水が出ないことを確認の上、閉じます。

5. 日常の点検とお手入れ

製品寿命は水質と使用方法に左右されます。機器本体のメンテナンスは特に必要としませんが、以下の点検とお手入れをお勧めいたします。

①外装の汚れは、乾いた布で拭き取ります。

おねがい

- 研磨材や、洗剤等は使用しないでください。
- ②水漏れ等がないことを確認します。
- ③給水の元栓が開いていることを確認します。
- ④③の状態で機器のブレーカが「入」(ON)であることを確認します。
- ⑤温度調節ダイヤルの設定が高過ぎないか確認します。

MEMO

○定期的に機器の電気部品の安全性、給水接続口の清掃、機器の漏電遮断機が正常に作動するかの確認を工事業者に依頼します。

6. 故障かな?と思ったら

現象	確認項目	処置内容	参照ページ
お湯が出ない。	温度調節ダイヤル	設定温度が、お好みの温度に設定されていることを確認してください。	P. 4 4-1
	ブレーカ	機器のブレーカが「入」(ON)であることを確認してください。	—————
	元栓	元栓が開いていることを確認してください。	—————
ブレーカが落ちる	ブレーカ	ただちに使用を停止して、工事業者にご連絡ください。	—————
使用したい温度に達しない。	温度調節ダイヤル	設定温度を使用したい温度より、少し高目に設定してください。	P. 4 4-1
	水栓	複数の水栓でお湯を使用している場合は、一つの水栓のみで使用してください。	—————
		単水栓でも設定温度に達しない場合は、工事業者にご連絡ください。	—————
水が漏れている	機器周辺	機器から水が漏れている場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 6 7
	水栓、配管	機器以外から水が漏れている場合は、工事業者にご連絡ください。	—————
異音	機器	お湯を出している場合は、若干の音が発生しますが正常です。 お湯を出していない場合は、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。	P. 6 7

上記で改善しない場合は、再度機器のブレーカを「入」(ON) / 「切」(OFF) して状態が改善しないことを確認上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

7. 点検及び修理について

(1) アフターサービス(点検・修理)を依頼される場合

アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書のP. 5「6. 故障かな?と思ったら」をよくお読みの上、それでも不具合がある場合、あるいは不明な点がある場合は、ご自分で修理をなさらないで日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

TEL: 03-5715-4655

アフターサービスを依頼される場合は、保証書をご覧の上、次の項目をお知らせください。

- ① 機種名 : 保証書、または銘板ラベルに併記
- ② 製造番号 : 保証書、または銘板ラベルに併記
- ③ 不具合の具体的内容 : お湯が出ない等の症状、及びご使用条件
- ④ お取付け年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

(2) 補修用部品の最低保有期間について

この機器の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。補修用部品とは、その機器の機能を維持するための部品です。

(3) 保証について

この機器は、お取付け日から1年保証です。

保証書は、お取扱い店、または施工店からお渡しいたしますので、必ず「お取扱い店」、「お取付け日」、「製造番号」等の記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みの上、保管してください。

修理を依頼される場合、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。保証期間内であれば、消耗品を除き、保証書の記載内容に基づき無料修理を行ないます。保証期間を過ぎても、修理により機器の機能が維持できる場合にはご要望により有料修理いたします。

おねがい

- お客様ご自身で分解、改造した場合は、保証期間であっても無料修理の対象となりませんので、予めご了承ください。
- 電気の配線工事、及び水道の配管工事、機器の設置工事に起因する問題に関しては、機器の保証期間であっても無料修理の対象とはなりませんので、予めご了承ください。

8. 仕様

型名		DHB-E 18/21/24 LCD	DHB-E 27 LCD
電源電圧		3/PE 400V	
周波数		50/60Hz	50Hz
定格出力 *1	kW	18/21/24	27
定格電流 *1	A	29/31/35	39
水の体積抵抗率 *2	Ω cm	900 以上	
水の電気伝導率 *2	μ S/cm	1111 以下	
給水/給湯接続口		G1/2A	
許容圧力	MPa	1	
許容給水温度	℃	55	
給湯設定温度	℃	20-60	
最小流量	L/min	>2.5	
圧力損失	MPa	0.06 / 0.08 / 0.10	0.13
吐出量 *3	L/min	8.0	9.0
号数 *4		10.2 / 12.0 / 13.7	15.4
缶体容量	L	0.4	
感電保護クラス		I	
ヒーターエレメント		ベアワイヤー	
IP保護等級 *5		IP25 (IP24)	
外形寸法	高さ	mm	466
	幅	mm	225
	奥行	mm	116
質量 (満水時)	kg	3.2	3.2

*1：定格許容範囲：+7%~10%

*2：条件 水温15℃以下の場合

*3：定流量弁内蔵

*4：号数とは、給水温度+25℃に温めたお湯を1分間に何リットル供給できるかを表示しています。
単位 (L/25℃ min)

*5：電源ケーブルを機器の背面上部から引き込むような配線にした場合は、IP24となります。

瞬間式電機温水器

DHB-E SLiシリーズ

取付説明書

型 名 …… ●DHB-E LCDシリーズ

DHB-E18/21/24LCD

DHB-E27LCD

取付工事店様へ



- この機器は、電気工事、水道管工事が必要となります。取付工事は必ず所定の資格を持った方が行なってください。
- この機器を正しく安全にお客様にご使用いただくために、取扱説明書、並びに取付説明書のP. 9「1. 安全上のご注意」をよくお読みの上、取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
- 施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願い致します。

日本スティーベル株式会社




1. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示しています。













 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡、または重傷に結びつく可能性があるもの。	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害、または家屋・家財等の損害に結びつくもの。
--	---

■ 本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 禁止マーク	してはいけないことを示します。
 注意マーク	注意することを示します。
 指示マーク	必ず行なうことを示します。

警告

禁止

-  絶対に改造はしないでください。
-  取外しの指定がない部品は、取り外さないでください。また、指定されている付属部品以外は使用しないでください。
-  電源は三相400V以外を供給しないでください。
-  DHB-E27 LCDに60Hzの電源を供給しないでください。
-  機器に水をかけないでください。また、機器が災害等により、濡れてしまった場合は、使用しないでください。
-  屋外や湿気の多い場所、浴室内には設置しないでください。また、機器に水がかからないようにしてください。
-  機器は凍結の危険がある場所には設置しないでください。
-  濡れた手で機器を操作しないでください。
-  機器は不燃材以外の壁に設置しないでください。
-  機器の近くでの油の取り扱い、ガス類等の可燃性物質や、爆発の恐れがある物質を保管したり、使用したりしないでください。
-  水道法の水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。
-  電気工事、及び配管工事は、資格を持った作業員以外に行なわないでください。

！ 指示

- ！ 内線規程に基づいて、電気工事を実施してください。
- ！ 機器のヒーター容量に適した専用ブレーカ、及び漏電遮断機を設置してください。
- ！ C種接地工事、漏電遮断機設置工事が適正に行なわれていることを確かめてください。
- ！ 鉄等の導電性の高い物質に機器を固定する場合は、機器を固定する架台にもC種接地工事をしてください。
- ！ 漏電遮断機が働いた場合は、機器の使用を停止して日本スティーベル（株）にお問い合わせください。
- ！ 電気伝導率が $\leq 1111 \mu\text{S}/\text{cm}$ 、または体積抵抗率 $\geq 900 \Omega\text{cm}$ （水温 15°C 以下の場合）の水道水を使用してください。
- ！ 電源電圧は定格電圧の $+7\% \sim 10\%$ 以内であることを確認してください。
- ！ 機器は、給水／給湯管接続口を下方に向けて、機器の満水時の質量に耐えられる補強を行なった壁に対して平行に設置してください。
- ！ 機器を正常に動作させるために、不燃材からの離隔距離を守って設置してください。

	上面	下面	左面	右面	前面
離隔距離	$\geq 90\text{mm}$	$\geq 90\text{mm}$	$\geq 50\text{mm}$	$\geq 50\text{mm}$	$\geq 500\text{mm}$

- ！ 設置地域の火災予防条例に則した離隔距離を取ってください。
- ！ 機器の異常を発見した場合は、お客様に引き渡さず日本スティーベル（株）にお問い合わせください。

⚠ 注意

🚫 禁止

- 🚫 設置前の機器は、雨水がかかる場所や雪上、氷上には置かないでください。
- 🚫 機器に接続してある配管や電気部品を外したりしないでください。
また、機器の電気部品（交換用電気部品）を他の電気機器に接続しないでください。
- 🚫 給水／給湯管接続口に衝撃を加えないようにしてください。
- 🚫 機器の上に物を置いたり、物を貼ったり、機器に荷重を掛けたりしないでください。
- 🚫 給水の元栓を止めた状態では機器のブレーカを「入」（ON）にしないでください。

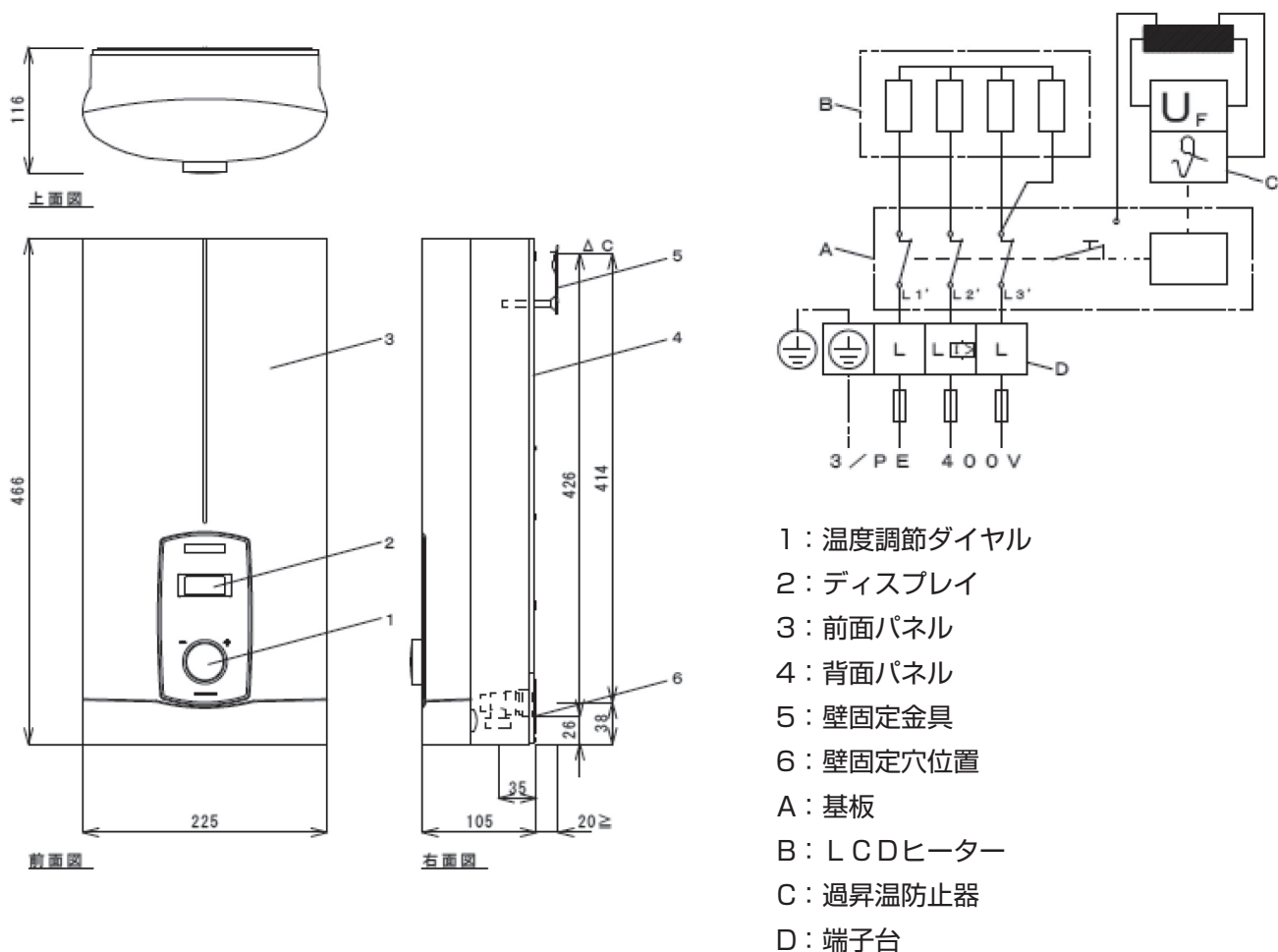
！ 指示

- ！ 給水配管接続は、銅管、PEXチューブ、ブレードホースを使用してください。
- ！ 水の凍結が予想される場所では、凍結防止処理を施してください。

- ❗ 試運転の際は、給水の元栓を開いた後、機器ブレーカを「入」(ON)にする前に、60秒以上、気泡が消えるまで蛇口を開き、水を流した状態でリセットボタンを押してください。
- ❗ リセットボタンは先端が2.5mm×6.0mmまでの角か、丸みを帯びた棒、または精密ドライバー以外のドライバーでサイズが合うもので押してください。
- ❗ 機器を設置する場所の床面は防水処理を施してください。
- ❗ 設置作業後は、異物が混同しないように前面パネルを取り付けてください。
- ❗ クロス貼りの際は、機器にノリが付着しないように前面パネルの上からもしっかりと養生を行ってください。
- ❗ 必ず試運転を行ってからお客様に商品を引き渡してください。
- ❗ 取扱説明書の保証書に、お客様、お取扱い店、お取付け日、製造番号等の必要事項を必ず記入し、お取扱い店、及び取扱者印を捺印してください。
- ❗ 工事終了後は、必ずお客様に取扱いの説明を行ってください。直接説明できない場合は、現場責任者等代行者に説明し、必ずお客様に取扱いの説明がなされるようにしてください。
- ❗ 取扱説明書をお客様に必ず保管いただくようにお渡しください。

2. 外形寸法と付属部品

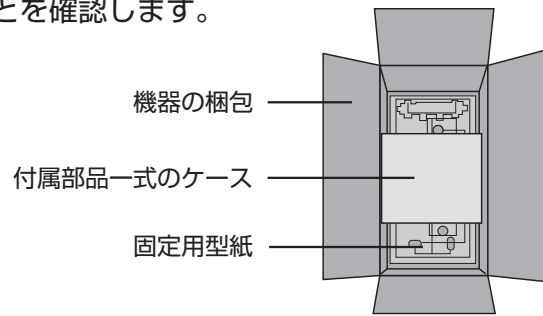
2-1. 外形寸法と配線図



- 1 : 温度調節ダイヤル
- 2 : ディスプレイ
- 3 : 前面パネル
- 4 : 背面パネル
- 5 : 壁固定金具
- 6 : 壁固定穴位置
- A : 基板
- B : LCDヒーター
- C : 過昇温防止器
- D : 端子台

2-2. 付属部品

①機器の梱包を開梱し、下記の部品が所定の数量あることを確認します。

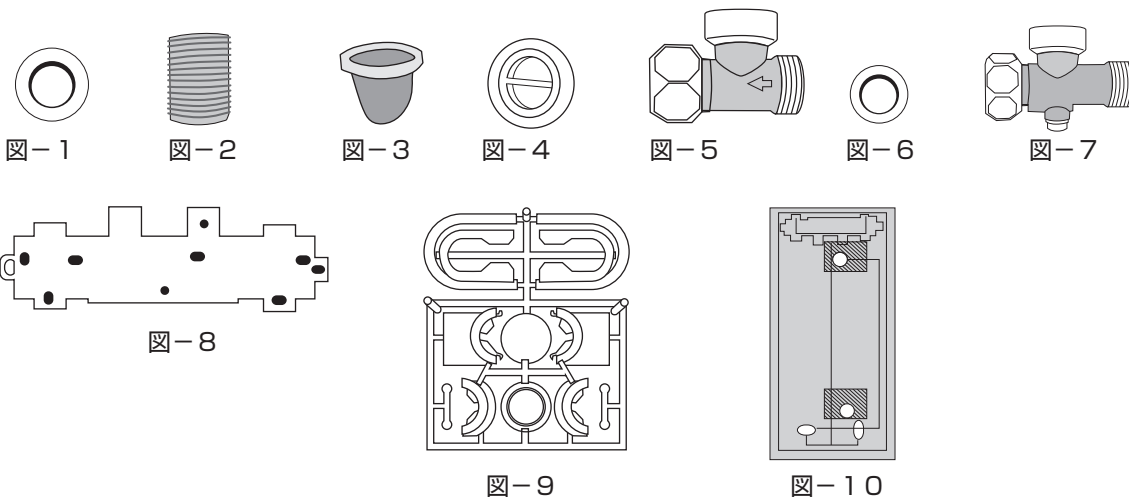


②取扱取付説明書は、固定用型紙の裏に同梱されています。

共通付属部品一覧

部品名称	数量	図番	部品名称	数量	図番
パッキン18.5×12.0×2.0	3	図-1	給水用チーズ継手	1	図-7
給水・給湯接続口	2	図-2	壁固定金具	1	図-8
ストレーナ	1	図-3	配管カバーキット	1	図-9
ストレーナカバー	1	図-4	固定用型紙	1	図-10
給湯用チーズ継手	1	図-5	取扱取付説明書	1	-
パッキン14×9.9×2.0	1	図-6			

以下、パッキン18.5×12.0×2.0を「パッキン(大)」、パッキン14.9×9.2×2.0を「パッキン(小)」と記述します。



オプション部品（屋内の給水・給湯配管が機器の下部に露出配管されている場合用）
DHB-E LCD G1 / 2止水アダプタは以下、「止水アダプタ」と記述します。



部品番号：03074326

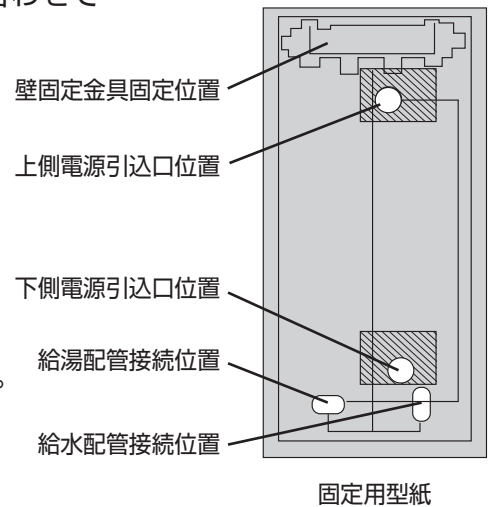
部品名称：DHB-E LCD G1 / 2 止水アダプタ
アダプタ・パッキン 各2個

3. 事前工事

- ①設置場所では凍結が生じないことを確認します。
- ②接続口がG1/2メスの給水配管、給湯配管を機器の設置位置に合わせて配管しておきます。

MEMO

- 出荷時点では下側の電源引込口が利用できるようになっていません。
- 固定用型紙を適宜、設置する壁面に貼って目安とします。



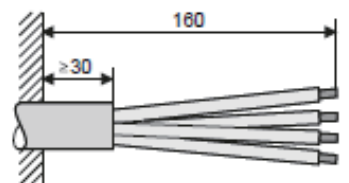
- ③機器と不燃材間の離隔距離が確保できることを確認します。

	離隔距離
前面	500mm以上
上面	90mm以上
右面	50mm以上
左面	50mm以上
下面	90mm以上

- ④機器に適した容量の漏電遮断機の設置、電源ケーブル、C種接地のアース線を配線します。

MEMO

- 電源ケーブルとアース線は、壁面より右図の長さを出しておきます。

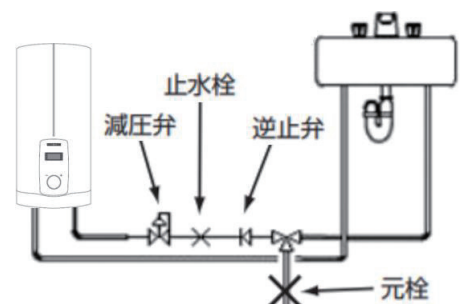


型名	電源電圧	定格出力	定格電流	相	周波数
DHB-E18 / 21 / 24LCD *1	400V	18kW	29A	3/PE	50/60Hz
		21kW	31A		
		24kW	35A		
DHB-E27LCD		27kW	39A		50Hz

*1：機器内部のコネクタの接続位置で定格出力を変更できます。

おねがい

- DHB-E18 / 21 / 24LCDの漏電遮断機の容量、電源ケーブルのサイズは、必ず使用する定格出力、定格電流に合わせてください。
- ⑤機器の給水側接続口の前に、必要に応じて減圧弁、止水弁、逆止弁を設置します。

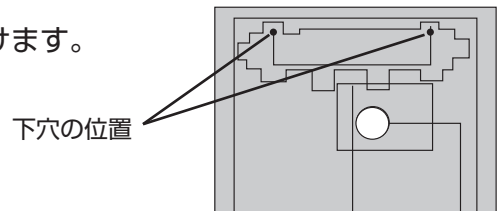


4. 機器の設置工事

4-1. 付属部品を設置

4-1-1. 壁固定金具の壁面への設置

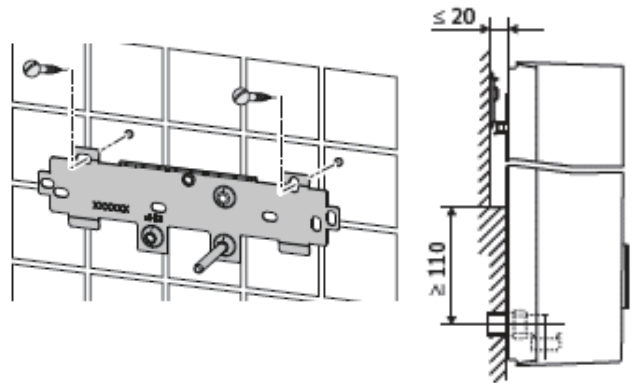
①固定用型紙を壁に合わせて、壁固定金具の固定位置に下穴を開けます。



②壁固定金具を2本のネジで壁に固定します。

MEMO

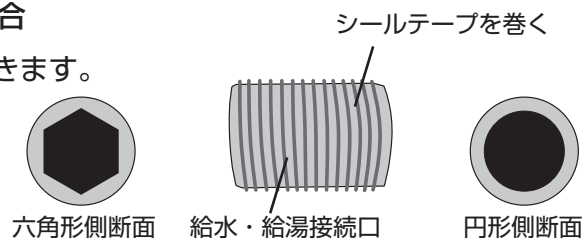
- ネジはφ6mmで、壁の材質に適したネジを使用してください。
- 壁に段差がある場合は右図の範囲で調節可能です。



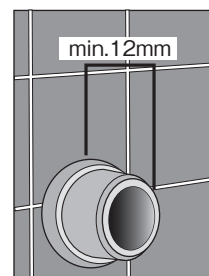
4-1-2. 屋内の給水・給湯配管の接続

(1) 屋内給水・給湯配管が機器の背面側からきている場合

①給水・給湯接続口の円形の断面側にシールテープを巻きます。

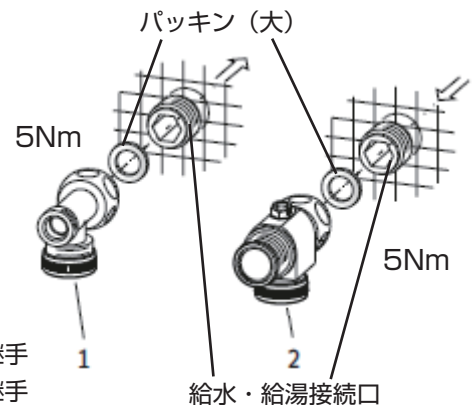


②12mmの六角レンチを、給水・給湯接続口の六角形の断面側に差し込み、屋内の給水接続口、給湯接続口に壁面から先端が12mm以上出るように固定します。



③給湯側に給湯側チーズ継手を、付属のパッキン(大)を挟んで給水・給湯接続口に5Nmの圧力で接続します。

④給水側に給水側チーズ継手を、付属のパッキン(大)を挟んで給水・給湯接続口に5Nmの圧力で接続します。



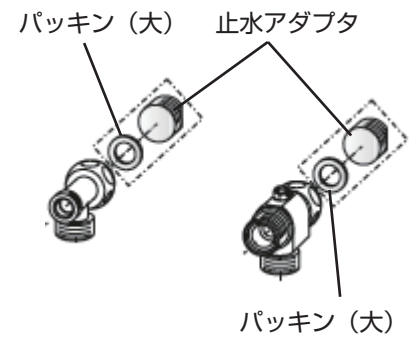
図中 1：給湯側チーズ継手
図中 2：給水側チーズ継手

✓ ご注意

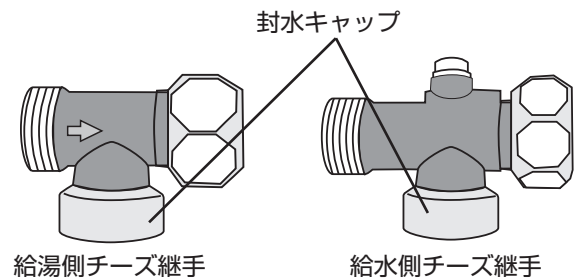
●所定のトルク以上のトルクをかけると、配管の破損やパッキンの破損が発生する恐れがあります。

(2) 屋内の給水・給湯配管が機器の下部に露出配管されている場合

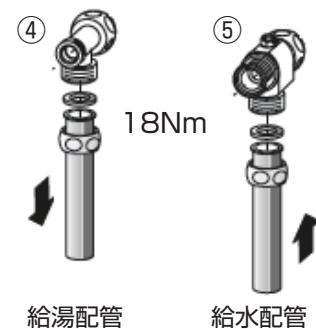
- ①給湯側チーズ継手のナット側に、パッキン (大) を挟んで、オプション部品の止水アダプタを接続します。
- ②給水側チーズ継手のナット側に、パッキン (大) を挟んで、オプション部品の止水アダプタを接続します。



- ③給湯側チーズ継手と、給水側チーズ継手下部の封水キャップを反時計回りに回して外します。



- ④給湯側に給湯側チーズ継手を、パッキンを挟んで給湯配管に18Nmの圧力で接続します。
- ⑤給水側に給水側チーズ継手を、パッキンを挟んで給水配管に18Nmの圧力で接続します。

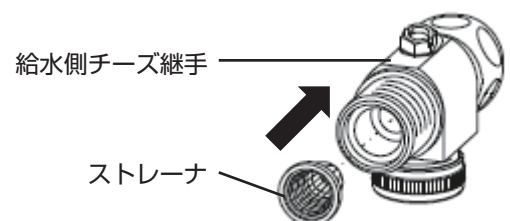


✓ ご注意

- 所定のトルク以上のトルクをかけると、配管の破損やパッキンの破損が発生する恐れがあります。

4-1-3. ストレーナの設置

- ①給水側チーズ継手に、ストレーナを設置します。



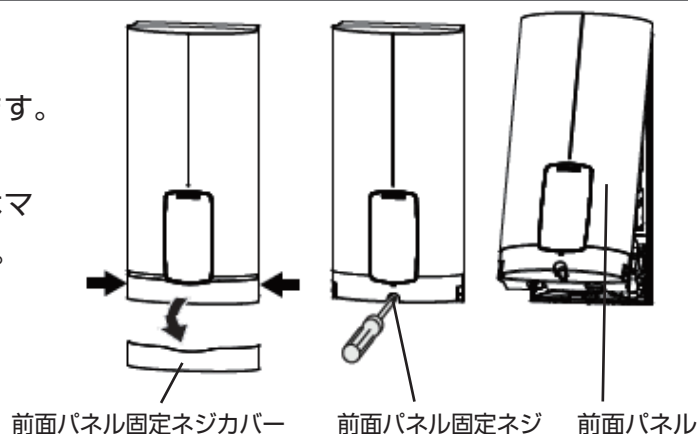
- ②①の上から、ストレーナカバーを設置します。



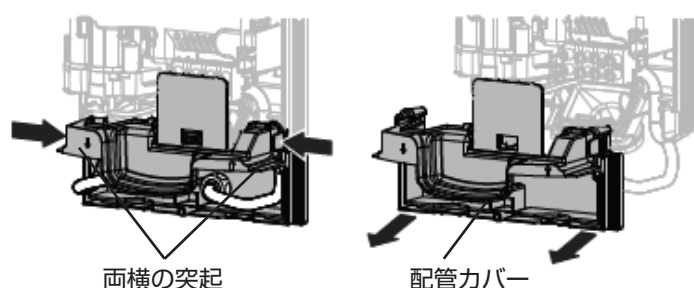
4-2. 機器の設置

4-2-1. 機器の設置準備

- ① 前面パネル固定ネジカバーを手前に引いて外します。
- ② 前面パネル固定ネジをプラスドライバー、またはマイナスドライバーで反時計回りに回して緩めます。
- ③ 前面パネル下部を手前に引いて、外します。



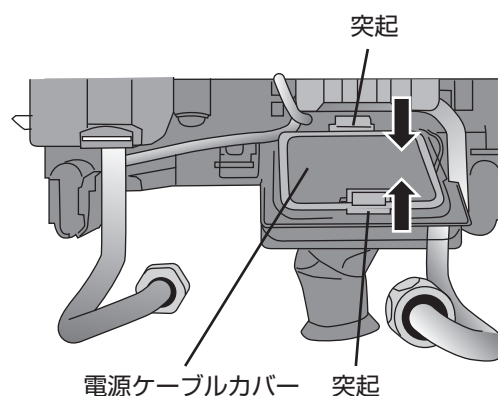
- ④ 配管カバー両横の各1ヶ所の突起を機器中央側に押しながら、配管カバーを手前に引いて外します。



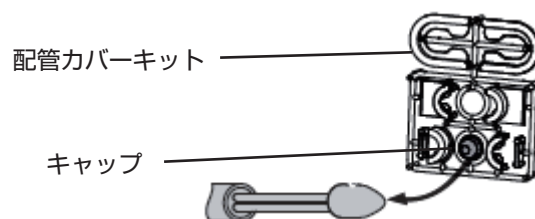
4-2-2. 電源引込口に合わせた端子台の移動

(1) 下部の電源引込口を使用する場合 (出荷時設定)

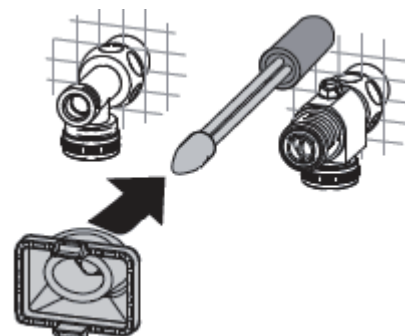
- ① 電源ケーブルカバーの背面側から上下の突起を押し上げ、その状態で上下の突起を穴の中心側に押し、突起を機器から外し電源ケーブルカバーを背面側に引いて外します。



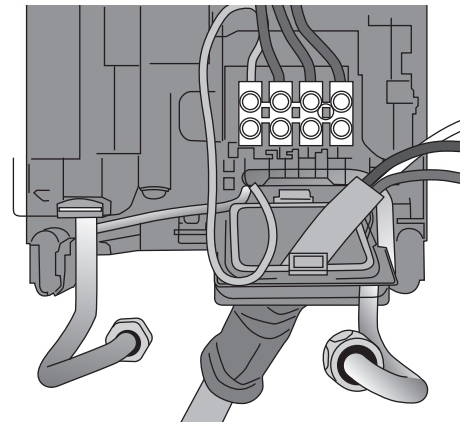
- ② 配管カバーキットからキャップを切り取り、電源ケーブル先端に被せます。



- ③ 電源ケーブルを電源ケーブルカバーの背面側から前面側に通します。

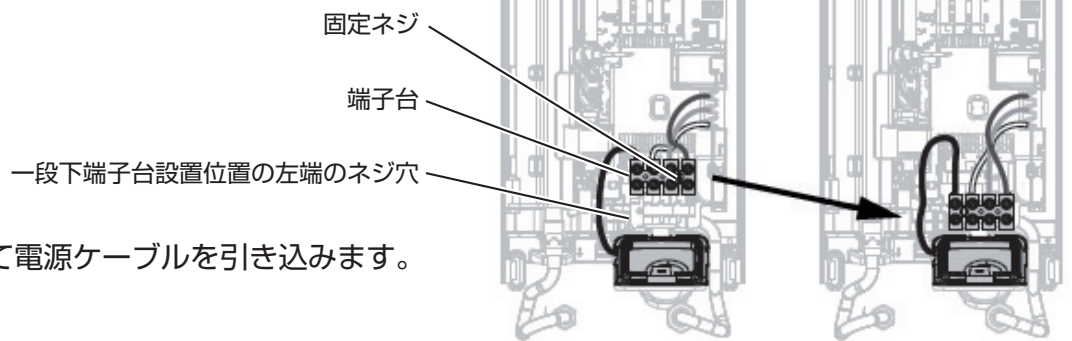


- ④電源ケーブルカバーを機器の背面側から機器の元の位置に設置しなおします。
- ⑤電源ケーブルに被せたキャップを外します。



(2) 端子台の位置を下にずらして電源ケーブルを接続する場合

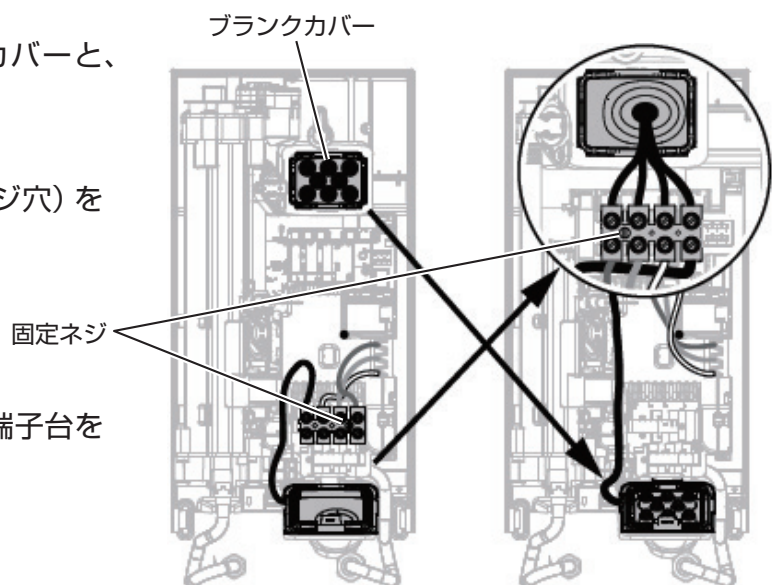
- ①端子台を固定しているネジをT20トルクスドライバーで外します。
- ②一段下の端子台設置位置に端子台 (左端のネジ穴) を合わせて①で外したネジで固定します。



- ③(1)の②、③に従って電源ケーブルを引き込みます。

(3) 上部の電源引込口を使用する場合

- ①(1)の①と同様の手順で、電源ケーブルカバーと、ブランクカバーを外します。
- ②(2)の要領で端子台を外します。
- ③上部の端子台設置位置に端子台 (左端のネジ穴) を合わせて、②で外したネジで固定します。



MEMO

- アース線の一次側配線が右端に来るように端子台を配置します。

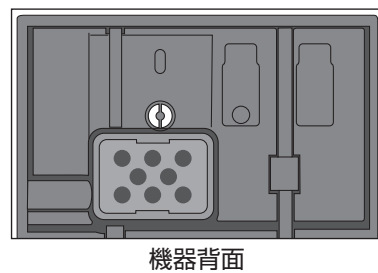
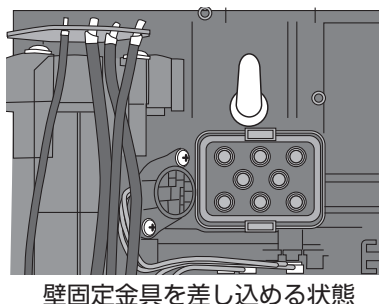
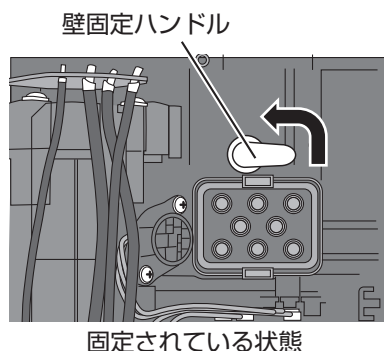
ご注意

- (3)の配置にした場合はIP24になります。IP25が必要な場所に設置する場合は(3)の作業をしないでください。

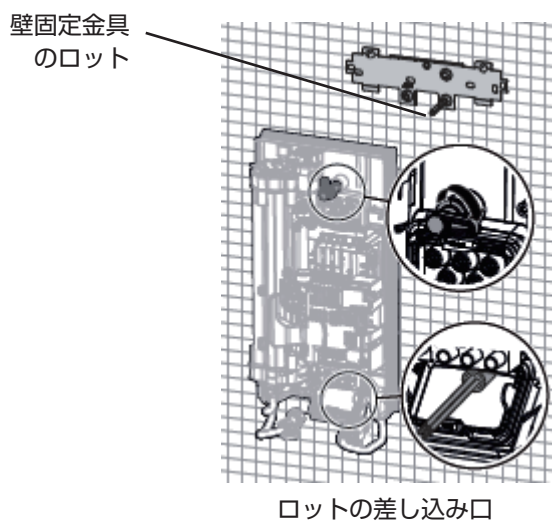
- ④(1)の②、③に従って電源ケーブルを引き込みます。

4-2-3. 機器の固定

①壁固定ハンドルを反時計回りに90°回転させてから手前に引いて機器から外します。

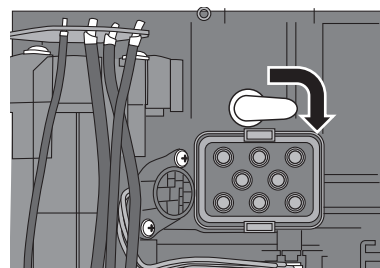


②壁固定金具のロットを機器背面のロット差し込み口に壁固定ハンドルが外れないよう注意しながら差し込みます。

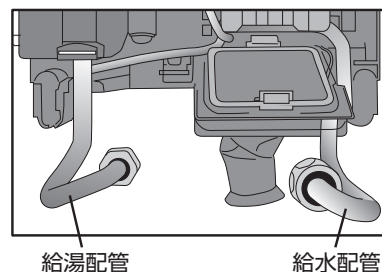


③②と合わせて、電源ケーブルカバーを機器に固定します。

④壁固定ハンドルを時計回りに90°回転させて、壁固定金具に機器を固定します。

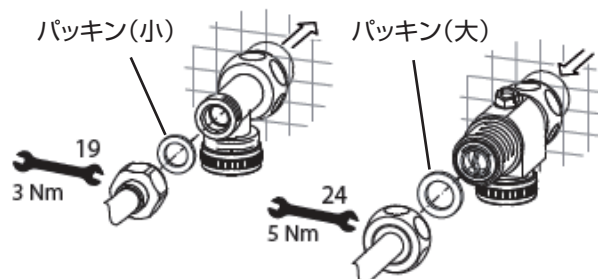


⑤給湯口、給水口に接続してある止水キャップを外します。



⑥給湯配管のナットに付属のパッキン(小)を挟んで、給湯用チーズ継手に3Nmの圧力で接続します。

⑦給水配管のナットに付属のパッキン(大)を挟んで給水用チーズ継手に5Nmの圧力で接続します。



✓ ご注意

●所定のトルク以上のトルクをかけると、配管の破損やパッキンの破損が発生する恐れがあります。

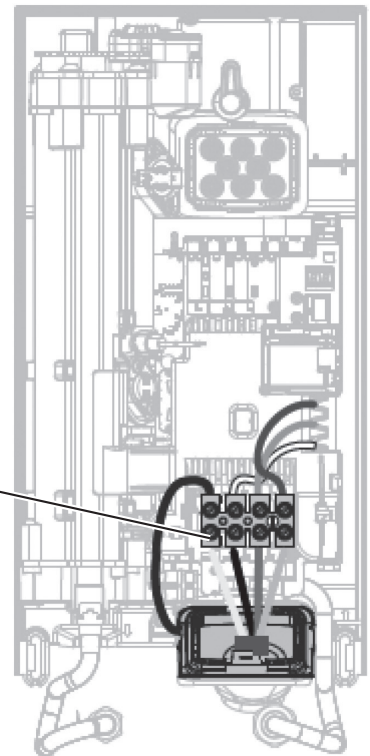
⑧電源ケーブルとアース線を端子台の一次側に接続します。

✎ MEMO

○アース線の接続間違いに注意してください。

⑨端子台のネジを一次側、二次側ともに増締めします。

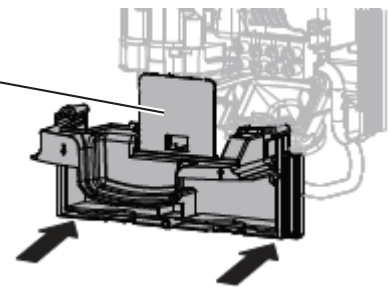
アース線接続位置



(1) 給水／給湯配管を機器の背面側に配管してある場合
(P14 4-1-2. (1) の配管の場合)

①配管カバーを機器正面から配管が接触しないように固定します。

配管カバー

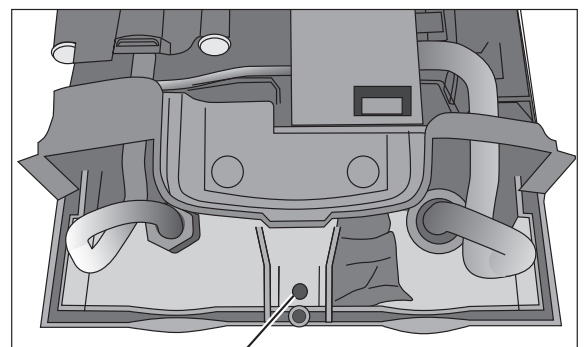


②配管カバー下部のネジ穴を利用して、ネジで機器を壁に固定します。

✎ MEMO

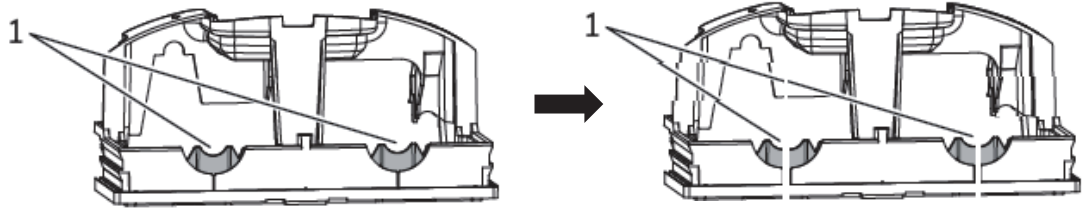
○ネジはφ6mmで、壁の材質に適したネジを使用してください。

下部のネジ穴

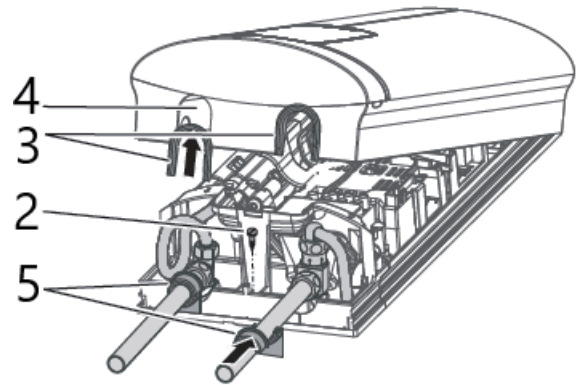
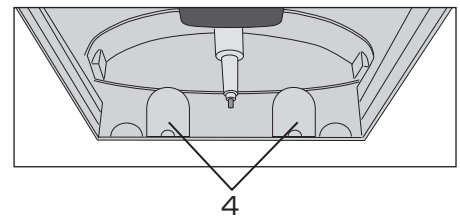


(2) 屋内の給水・給湯配管が機器の下部に露出配管してある場合
(P15 4-1-2. (2) の配管の場合)

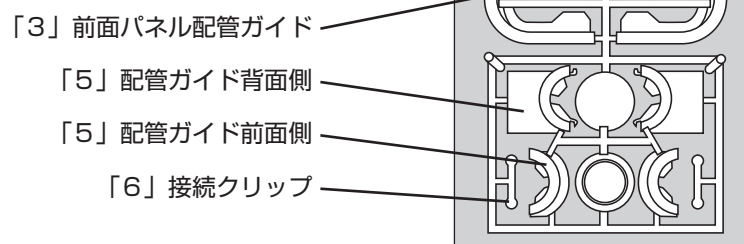
①配管カバー（下から見た図）の「1」のタブの部分から縦に切ります。



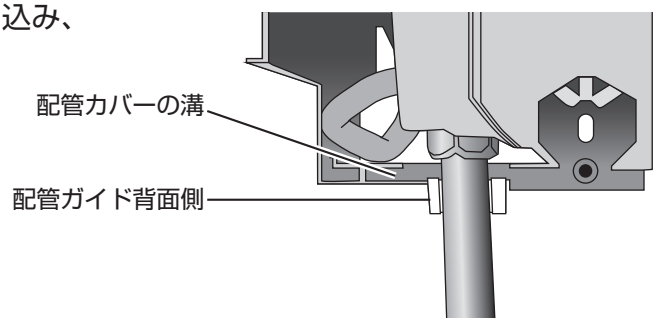
②前面パネル裏の「4」ロックアウト穴を切り取ります。



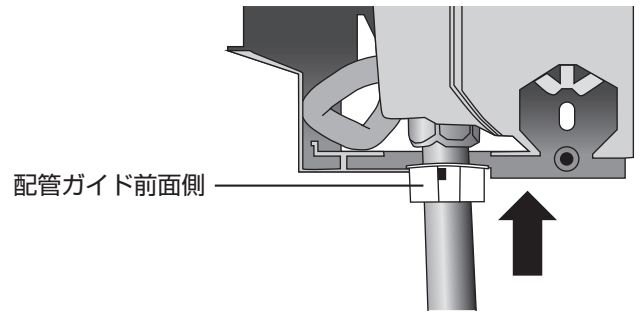
③配管カバーキットから「3」前面パネル配管ガイドを切り取り、②の作業を終えた前面パネルにはめ込みます。



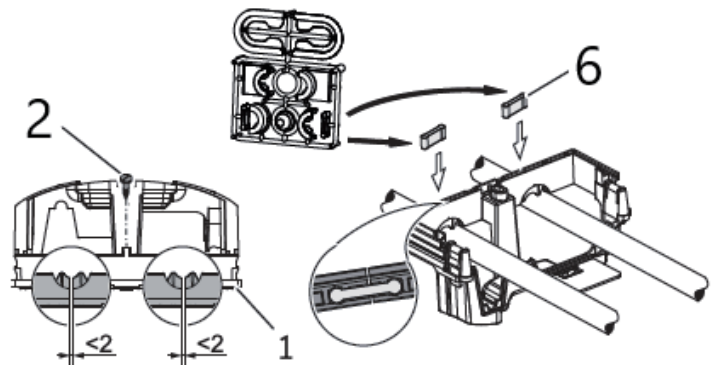
④「5」配管ガイド背面側を配管カバーの溝に差し込み、配管の後に移動させます。



⑤「5」配管ガイド前面側を配管に押し付けながら、下から上へ配管ガイド背面側に組み合わせます。



⑥配管カバーキットから「6」接続クリップを切り離して、配管カバーの①で切断した部分の背面側の所定の位置に「6」接続クリップを差し込みます。

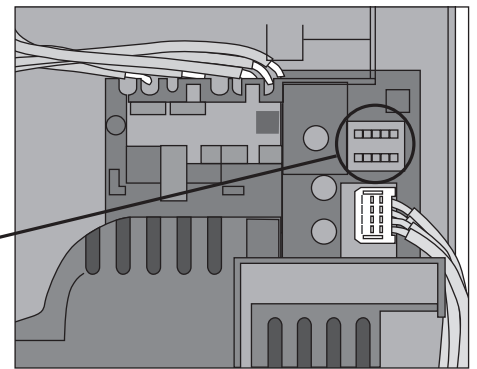
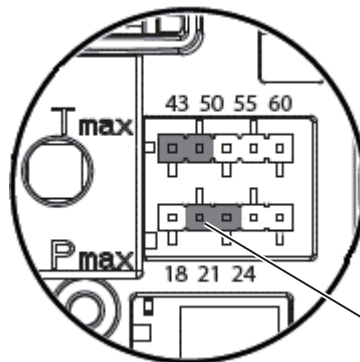


4-3. 機器の初期設定

(1) DHB-E 18/21/24LCDの場合

①基板上的下側のコネクタ「Pmax」側をお好みの定格出力の位置に差します。

コネクタ接続位置	
18	
21	
24	
出力 kW	



コネクタ

🔧 おねがい

○機器の定格出力は、漏電遮断機、ブレーカ（漏電遮断機と兼用の場合もあります）、電源ケーブルの定格を確認し、その定格を超えないようにしてください。

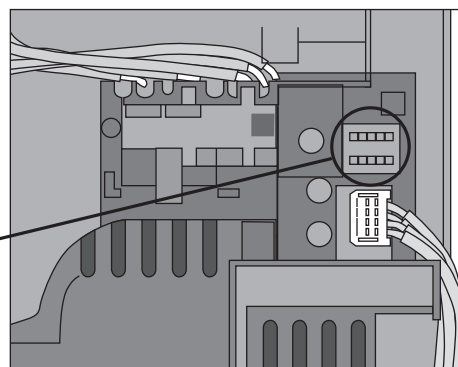
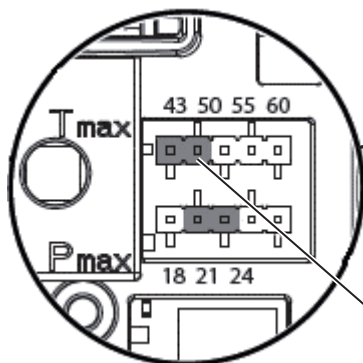
📝 MEMO

○DHB-E 18/21/24LCD以外の機器は、定格出力を変更できません。

(2) 設定温度を制限したい場合

- ①基板上の下側のコネクタ「Tmax」側を制限したい温度の位置に差します。

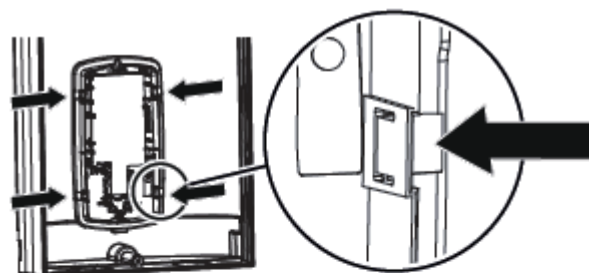
コネクタ接続位置	
43	■ □ □ □
50	□ □ ■ □
55	□ □ □ ■
60	□ □ □ ■
温度	



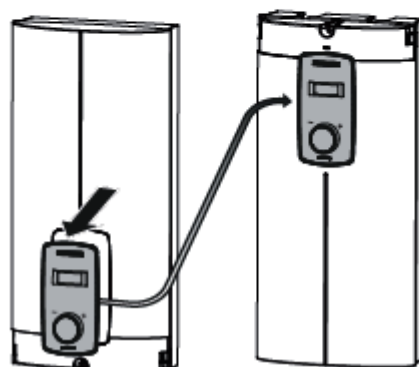
コネクタ

(3) 前面パネルを上下逆さに設置する場合

- ①操作部カバー裏側の両側面各2ヶ所の矢印の位置を外側から内側に押すことで、操作部カバーを前面パネルから外します。



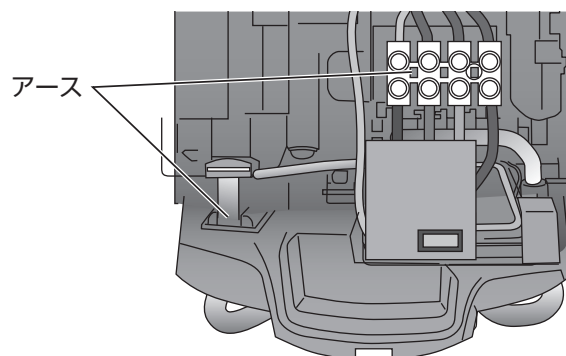
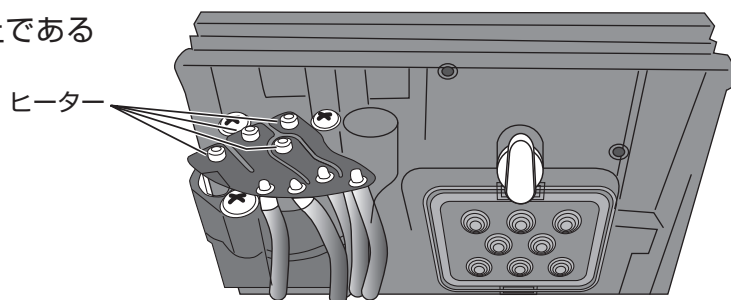
- ②操作部カバーを前面パネルに上下を逆にして、所定の位置に押し固定します。



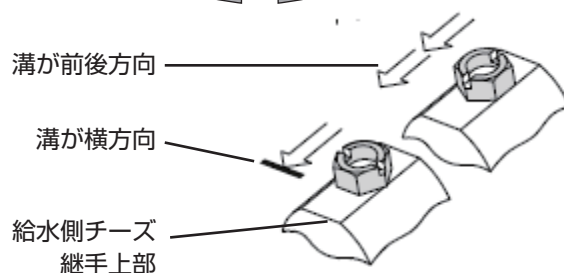
- ③前面パネルを上下逆さにして機器に固定します。

(4) 全機種共通の作業

- ①ヒーターとアース間で絶縁抵抗が1 MΩ以上であることを確認します。



- ②給水側チーズ継手上部のネジの溝を横方向から前後方向にします。



MEMO

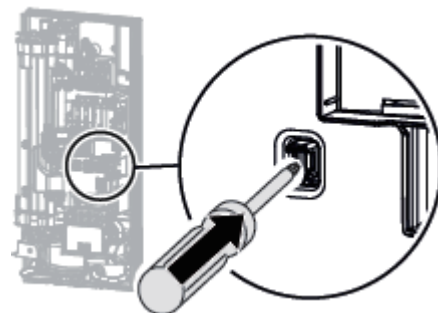
- 給水側チーズ継手は止水栓の働きを兼ねています。ネジの溝を横方向のままにすると機器内部に給水されません。

- ③機器のブレーカが「切」(OFF)であることを確認します。



- ④機器の給湯配管が接続されている水栓の給湯側のツマミを開き、そこから水を60秒以上気泡が消えるまで流します。

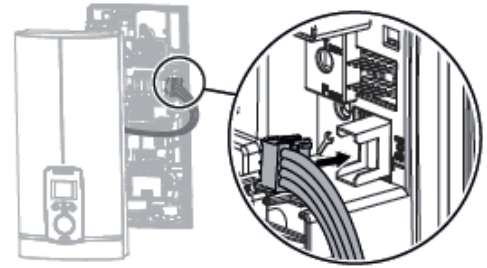
- ⑤④の作業後、水を流したままで、基板上的リレーの右横にあるリセットボタン(2.5×6mm)を「カチッ」というまで押します。



✓ ご注意

- ④⑤の作業を実施しないと、機器を正常に使用できなくなります。また、リセットボタンの押し方が不十分な場合も、試運転終了後に引き渡した際等に動作不良の原因になります。
- 機器の背面が不安定な場合は、機器の背面を押さえた状態でリセットボタンを押します。
- リセットボタンは、先端の尖ったものでは押さないでください。

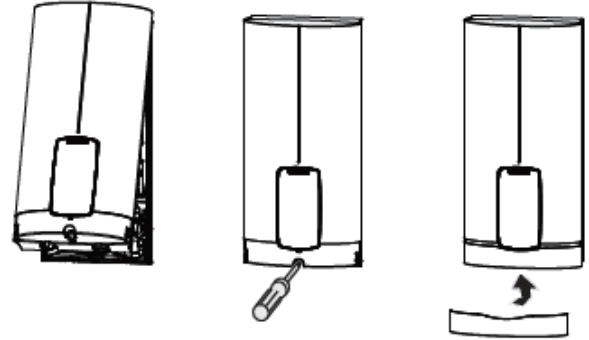
⑥⑤の作業後、温度調節基板からの基板間コネクタ付ハーネスを基板の所定の位置に接続します。



⑦前面パネルを機器に固定し、ネジ止めします。

⑧機器のブレーカを「入」(ON)にします。

⑨温度調節ダイヤルを一度OFF~20℃、20℃~60℃に設定できることを確認します。



(5) 検査記録

以上の設定、及び検査結果を下記表に記載します。

お客様名			
担当会社名/検査者名			
検査日			
検査項目	検査結果	摘要	参照ページ/項目
壁の設置状態		チェックのみ	P. 16 4-2-1
機器の固定		チェックのみ	P. 18 4-2-3
C種接地工事		接地抵抗<10Ω	P. 13 3
ヒーター容量の設定	18 21 24 単位:kW	DHB-E18/21/24LCDのみ	P. 21 4-3
配管の接続(給水側)		正面から見て右側	P. 18
配管の接続(給湯側)		正面から見て左側	4-2-3
絶縁抵抗		1MΩ以上	P. 21 4-3
水栓のお湯側から水を出す。		チェックのみ	P. 21 4-3
リセットボタン		チェックのみ	P. 21 4-3
基板間コネクタ付ハーネス		チェックのみ	P. 21 4-3
温度調節ダイヤル		チェックのみ	P. 21 4-3
備考			

(6) トラブルシューティング

故障内容	原因	対応
お湯にならない。	ブレーカが「切」(OFF)	ブレーカを「入」(ON)にします。
	リセットボタン未操作	P. 23(4)項に従い作業します。
	基板上的LEDの点灯/点滅	基板上的LEDの点灯状態を日本スティーベル(株)にお問い合わせください。
	配管の接続	給水側と給湯側を反対に接続していないか確認します。
ブレーカ作動	供給電源の仕様	供給電源の仕様が、機器の仕様に合致していることを確認します。
湯量が少ない	ストレーナの詰まり	ストレーナを外して清掃してください。
	最大流量の確認	P. 7「8.仕様」の最大流量以上の流量は出ません。正常です。

保証書

本書は、下記（無料修理規定）に基づいて下記型名の機器の無料修理を行なうことをお約束するものです。当該機器以外の機器類は、修理の対象いたしません。お取付け日から1年以内に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、日本スティーベル(株)にお問い合わせください。

お客様	フリガナ		型名	DHB-E18/21/24LCD DHB-E27LCD
	お名前			
お取扱い店	社名	取扱者	製造番号	- -
	〒	印		
	住所	印		
電話 () -		保証期間	製品 お取付け日から1年	
お取付け日	年	月	日	

機器はお取付け日から1ヶ年保証です。

★お客様へ

この保証書をお受け取りになるときは、お取付け年月日、お取扱い店名、製造番号の記載、並びに取扱者印の捺印があることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

(無料修理規定)

- お引渡しの仕様条件で取扱説明書、機器に貼られているラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、日本スティーベル(株)にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
「お取付け日」の記載がない場合、日本スティーベル(株)の出荷記録に基づいて、出荷日を「お取付け日」として起算します。
- ご転居等により、お取付け場所を移動する場合は、予め日本スティーベル(株)にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
 - 修理、または交換を必要とする不具合部品を交換せずに継続して使用した場合。
 - 使用上の不注意、過失による不具合、及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - お取付け後の移設、及び取付説明書に基づいたお取付けがなされていなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害、腐食性ガス等の有害ガス、塩害、異常電圧、ねずみ、鳥、くも、昆虫類の侵入、及びその他の外部要因による故障、及び損傷の場合。
 - 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷。
 - 一般の建物以外（例えば車輛・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
 - 砂、さび、ごみ、及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
 - 消耗品の交換、及び保守等の費用。
 - 本書の提示が無い場合、お客様名、お取扱い店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 以下の場合に生じた費用、及び代金は、本書による無料保証の対象にはなりません。
 - 理由の如何を問わず、機器設置後に、不適切な設定により増加した電気代。
 - 機器を設置したことによって生じた使用場所とその周辺の変色、変形、異音等の補修費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

SNS、Youtubeチャンネルのご案内

新製品紹介、お役立ち情報等を配信しています。フォロー、いいね！チャンネル登録を宜しくお願い致します。



@nihonstiebel
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル (Nihon Stiebel)
製品のご案内、ご採用事例の紹介等



日本スティーベル株式会社
機器の設定、お手入れ、施工動画等
ご利用者様へのインタビュー動画等



STIEBEL ELTRON

<https://www.stiebel-eltron.co.jp>
製品一覧、会社概要、カタログ、取扱取付説明書、仕様図のダウンロード



日本スティーベル株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川1丁目9番2号
TOKYO Y.Bビル 2階
TEL:03-5715-4655
(営業時間外・土日・祝日及び特定休業日を除く)

■製造者 **STIEBEL ELTRON**

機器の仕様、外観、及び価格は、予告なく変更する場合があります。

本書の内容、所在地、電話番号は、予告なく変更になることがありますので予めご了承ください